神辺中だより

令和８年１月

９

神辺中学校長

新年あけましておめでとうございます

2026 年(令和8年)がスタートしました。今年は十二支の一つ、午年です。干支はもともと、時間や方角を表すために使用されていたそうです。「午」は、太陽が一番高く昇る正午を意味しています。ここから「午前」「午後」という言葉が生まれました。

そして、古代中国では、馬は力強さやスピードの象徴として、人々の暮らしの中で特別な意味を持っていました。そのため、十二支がつくられたとき、「午」という位置には自然と「馬」があてられたと考えられています。「午」は「一日の真ん中」「エネルギーのピーク」を意味する文字であり、今年は、エネルギーに満ち、まっすぐ前に進む年とも言えます。

馬が大地を駆け抜けるように、自分の信じる道や今挑戦していることに邁進していく…そんな１年にしたいものです。

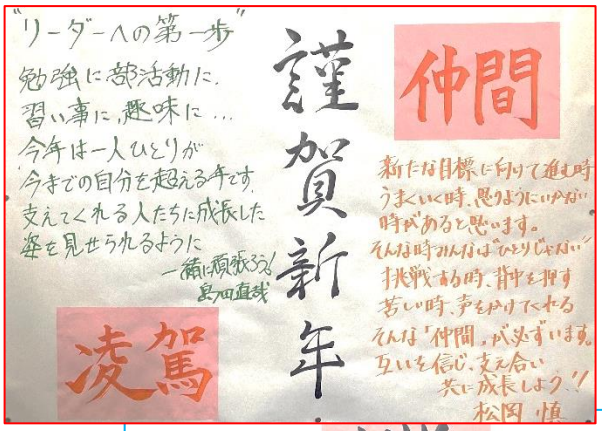
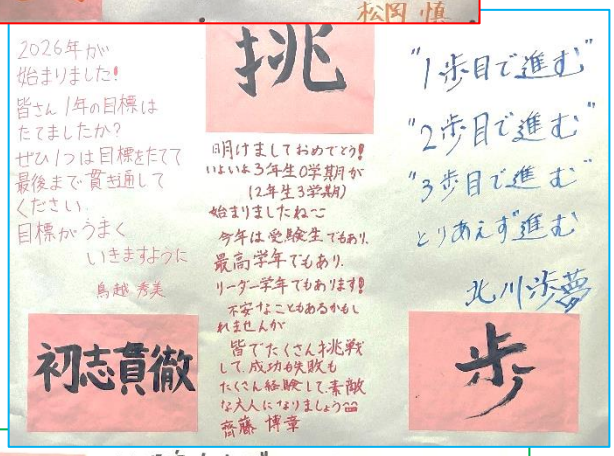
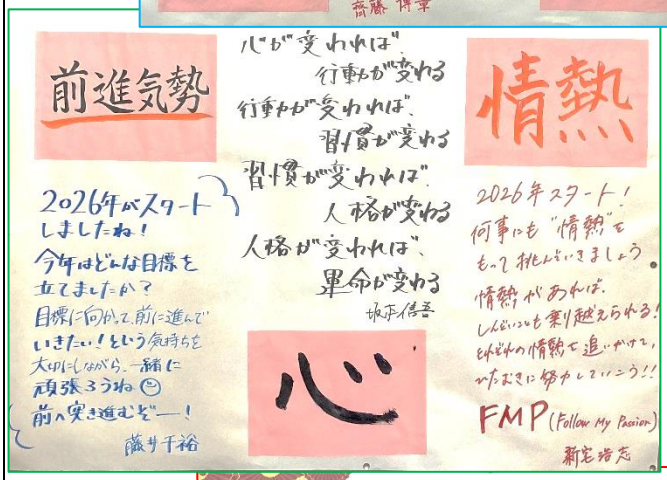
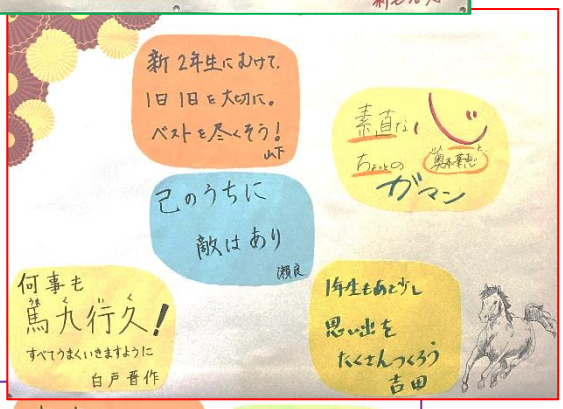
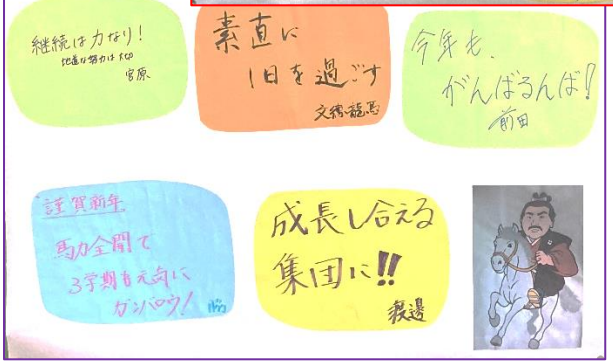
今日は、3学期の始まりにあたり、「一生懸命」という言葉についてお話しします。様々な場面で「一生懸命頑張ろうね」とか「一生懸命頑張ったよ」という会話を耳にすることがあると思います。実際に使ったことがある人がほとんどだと思います。この「一生懸命」とそっくりの言葉で「一所懸命」という言葉があります。「一生懸命」の方が一般的に使われていますが、もともと「一所懸命」だったものが、だんだん「一生懸命」に変わっていったと言われています。

その昔、武士は自分たちの住んでいる家や田畑を命がけで守ろうとしていました。そこから生まれた言葉が「一所懸命」なのです。「一所」は一つの場所、つまり自分たちの住んでいる所や、自分たちの生活のことを表しています。「懸命」は命を懸けるということ、つまりそれくらい真剣に行うということを表しています。

皆さんの日々の生活に当てはめてみると、人の話を聞くこと・発表すること・本を読むこと・勉強すること・部活動をすることなど、学校で行うことすべてが「一所」です。そして、その都度、真剣に取り組むことが「懸命」なのです。

新年にあたり、皆さんは何を「一所懸命」に行いたいですか。部活動や友達と過ごすこと、修学旅行の準備、3年生なら高校受験や最後の思い出づくりかもしれません。

私から望むのは、「遅刻をしない」「掃除をする」「挨拶をする」この3つです。この3つは、人から信頼を得て、自分自身の人生を豊かにする基本中の基本の行動です。時間に遅れてばかりで、掃除もさぼってばかり、挨拶もろくにしない。果たして人から信頼を得ることができるでしょうか。神辺中学校で大切にしている「時を守り 場を清め 礼を尽くす」。このことにもう一度立ち返り、「一所懸命」取り組む3学期にしてほしいと思います。そして、胸を張って卒業したり、胸を張って新入生を迎え入れられたりする神中生になってください。　　【3学期始業式あいさつより】

神辺中学校の職員室前の掲示板と校門を入ってすぐの掲示板には、毎月、ホットルーム利用者が、季節に合わせて作成したポスターを掲示してくれています。今月のポスターの武将はある先生がモデルになっています。さて何先生かわかるかな。

先生たちから皆さんへの新年のメッセージです